

令和5年度第2回古賀市公民館運営審議会会議録

【名称】 令和5年度第2回古賀市公民館運営審議会

【日時】 令和6年2月7日(水) 19時～20時5分

【場所】 リーパスプラザこが交流館 103 洋室

【出席者】

公民館運営審議会委員

末次威生会長、吉田義徳副会長、

富山巽委員、梯裕子委員、樋口律子委員、清水佳香委員、松本孝之委員

事務局

教育部長 横田浩一、生涯学習推進課長 樋口武史、公民館長 清水万里子

参事補佐兼社会教育振興係長 村上泰介、公民館係長 的野いと、公民館係 栞里梨加

【傍聴者数】 0名

【内容】

1. 開会のことば

教育部長 横田が開会のことばを述べる

2. 会長あいさつ

末次会長があいさつ

3. 付議事項

(1) 公民館事業について

●リーパスカレッジ事業

●成人祝賀事業 二十歳の集い

[事務局説明]別紙1、別紙2のとおり

[委員からの意見等]

特になし

(2) 第3次古賀市生涯学習基本計画(案)及びリーパスプラザこがリニューアル基本計画(案)に関するパブリック・コメントの実施について

[事務局説明]別紙3、別紙4のとおり

[委員からの意見等]

(委員)「生涯学習基本計画」のなかに、アンケート結果があるが特別考察がついていない。興味深いところがあるとの説明があったが、特記するような内容をご教示いただきたい。また、「リニューアル基本計画」のなかに「サードプレイス」という言葉がいくつか盛り込まれている。「サードプレイス」とは、カフェなどのようなところに長時間、みんなが集う、居心地の良い居場所のようなものと認識している。現在の施設は、部屋の利用時間はある程度決まっていて、活動が終れば帰る、といった利用が多かったと思う。「サードプレイス」としての居心地の良い場所を創り出す具体的な方策について詳しく教えて欲しい。

(事務局)「生涯学習基本計画」のアンケート結果のうち、Q31 生涯学習活動を行っているかという

設問で生涯学習活動を行っていない方が7割近くいらっしゃる事が大きなポイントとして挙げられる。以下、Q1～47の設問までは生涯学習活動を行っているかないかでカテゴリー化して分析している。情報収集方法や行きつけにしたいところなどの項目で大きな差を見出すことができる。分析結果を全体的に俯瞰した目で捉えて、興味深いと感じている。「リニューアール基本計画」の「サードプレイス」になりうるかということについて、中央公民館を市民ホールとして、興行ができる施設に生まれ変わらせることが大きな目標である。現在は、社会教育法や都市計画法により、コンサート、演劇など、利用料を得ての営利事業、興行ができない。都市計画法上の用途変更、社会教育法は劇場、音楽堂に関する法律に移行することによって高品質の文化芸術に触れられる環境を作っていきたい。刺激を受けた人が、多様なサークル活動に出会える、有志と出会えるような居心地の良い空間となっていく。図書館や歴史資料館などは保護者を含め子どもが興味関心をもって来るようになるなど、JR古賀駅東口のシンボル空間と連動しながら長時間滞在でき、回遊性のあるエリア、ゾーンにしていくということを本計画に盛り込んでいる。

(委員)7割の方が生涯学習活動に触れたことがないというのは大きな課題である。この現状を踏まえた計画の施策はあるか。

(事務局)「生涯学習基本計画」の4ページに記載している「支える」という体制が大切で、それが5ページの「支援」につながり、この視点が最終的に13ページの「みんなで支える生涯学習・社会教育」につながっていく。地域公民館をはじめとした地域との連携が必要であり、生涯学習施設の有効活用の発展や機能拡充の必要もある。個々人がモチベーションややりがいをもって生涯学習活動を実施することも大事だが、始めやすい環境を整備すること、雰囲気を作ることが大事。この点は、社会教育委員の会議でも議論した。

(委員)子育て世代の方々がリーパスプラザに集まるのが大事だと思う。若い母親からリーパスプラザに初めて来たという話を多く聞く。若い世代は、利用することを思いつかない、生涯学習がピンと来ていないといったことが理由であると思う。「リニューアール基本計画」の40ページ、リーパスプラザに28.7%が来訪したことがないとのアンケート結果が記載されているが、どの世代が回答しているかが分かれば教えていただきたい。

(事務局)どの年代層で何%かは、詳細分析ができていないため、今お答えできないが、情報発信やきっかけづくりの一環として令和2年度から「リーパスカレッジ」を実施している。これは従前のコスモス市民講座を発展的に行っているもの。30代～40代の受講が増えており、このような草の根的な情報発信は必要であると考えている。リーパスプラザに行ったことがある人を増やしていく。また、いかに早くリーパスプラザに来てもらえるかも大事。大都市に出かけなくても、市民ホールで高品質な文化・芸術活動、多種多様な催し物を開催することで興味関心をもっていただいて、幅広い年代層の方々に来ていただきたい。また、「リニューアール基本計画」の37ページから38ページのアンケート結果を通して読むと、コロナ禍が重なっているため参考値にはなるが、過去1年間の文化・芸術活動の経験やリーパスプラザの来訪経験などを年代別に記載している。

(委員)「リーパスカレッジ」を受講された方が生涯学習活動に目覚めてつながった、新たに生まれたなどの実績はあるか。

(事務局)来年度の本審議会で報告する予定であるが、1つ目に、「コーラス」の講座。このグループが、花鶴3丁目でもともとあったコーラスグループと合同で「文化芸術の祭典」に出場した。引き続き、一つの活動となって、2月末の「童謡まつり」にも出場する予定である。2つ目に、別紙1「火曜日の竹林隊」の講座、一般社団法人こがみらいが講師となって、竹を伐採し、現地で環境保全について学ぶもの。講座当日は雨で実際に体験ができなかったが、講座を受講された方がそのまま「火曜日の竹林隊」の活動に参加されている。3つ目に、「古民家でおしゃべり」という講座の活動がそのままグループとして現在でも活動している。古賀の良いところを知ろう、魅力を探そう、をテーマに活動を続けており、輪が広がりがメンバーも増えている。

講座を受講した人が「地域で開催したい」と申し出て、地域活動につながったものもある。全ての講座でということや、若い方に活動を継続してもらうことは課題としてあるが、「リーパスカレッジ」を通して、リーパスプラザに来て欲しい。

(委員) 次のステップに移っていけるかどうか、若い世代も一押しあると次につながると思う。

「生涯学習基本計画」アンケートの Q33 どういった生涯学習活動を行っているかの設問の回答、「その他」には何が含まれるのか。

(事務局) 「その他」の内容は把握ができかねるところがあるが、生涯学習活動、社会教育活動はハード事業とソフト事業のバランスが綿密に設計されたものである必要がある。「リーパスカレッジ」は少しずつ根が張りかけている状況で、自主的なグループとして独り立ちしているケースもあり、大きな成果である。口コミでメンバーが増えるというのは大きな希望。どういったところにどういうニーズがあるのか、どういったキーワードに市民が興味を持つのかなど、探していきたい。

(委員) 要望。「リニューアル基本計画」の 12 ページから 14 ページのつながり広場の登録団体の活動が記載されている。古賀市の人口規模でこれだけ多くの活動がされているのは、珍しく、他市に比べ活発だと言える。発端としてリーパスプラザで通年継続的な活動、講座をしていてグループ、団体になったということを聞いている。「リーパスカレッジ」について、現在は単発の講座が企画されている。講座を受けた後に継続して何かができるようなしつらえや、今ある活動を「リーパスカレッジ」のなかにも入れて継続を図ることが出来たら嬉しい。

(会長) 「リーパスカレッジ」の傾向、以前はコスモス市民講座として 10 年程度実施していた。当時の講座の内容は大人向けの講座が多かった。現在は親子向けの講座もあり、参加される方が喜んでいる。大きな変革である。コスモス市民講座から「リーパスカレッジ」に変わり、講座の内容が、子どもや保護者のリーパスプラザの利用頻度につながっている。このまま講座が発展していければと思う。

4. その他

(1) 委員から

特になし

(2) 事務局から

(事務局) 現在、「生涯学習基本計画」、「リニューアル基本計画」とともにパブリック・コメントで市民や市内事業者のみなさまからご意見を募集している。委員のみなさまも何かご意見があれば、提出をお願いしたい。「生涯学習基本計画」は 3/31、「リニューアル基本計画」は 3/15 の計画策定をめざしている。「生涯学習基本計画」は 4/1 から「第 3 次生涯学習基本計画」としてスタート、「リニューアル基本計画」は長い計画期間となるため、来年度市役所庁内で横断的に体制作りをしていく。

5. 閉会のあいさつ

副会長より閉会のあいさつ